

## 第69号

編集・発行  
日本大学山形高等学校  
図書館部  
図書委員会

発行日  
平成26年2月19日

(株)大風印刷



日大山形

# 図書館報



## お宝探しに 行きましよう

経理長 佐々木 敦

出版不況といわれる今日活字離れが進んでいます。販売実績が伸びている書籍もありますが、販売に伸び悩み書籍も多く二極分化し、高齢化社会を受け健康不安から実用書がたくさん書棚に並んでいます。販売額は低迷し厳しい時代のような感じです。確かに電子書籍にオンラインゲーム、レンタルDVDと趣味が多様化し、出版業界は曇りがちのようです。このような状況の中、「読んでから観るか、観てから読むか」というCMが昔あり、書籍と映画のコラボによる販売戦略を思い出しました。「観てから読む」はどうしても映画の再現が頭をよぎり想像性に乏しくなるため、当時の記憶によると小生は「読んでから観る」派であったように記憶していますが、皆様はいかがでしょう。

小生がまだ子供の頃、本は高額で本を購入することは一部のお金持ち以外はなかなか難しく、今では見かけなくなった貸本屋に学校が終わるとよく友達と通ったものでした。店主の目を気にしながら立ち読みし、回し読みしてから返却していました。現在はレンタルDVDへと進化したのでしょうか。

やはり思い出深いのは古本屋巡りです。大学生のころから社会人になっても定期的に、古本まつりで有名な神田の古本屋巡りをしていました。古本の醍醐味は安価に本を購入することができ、当時にタイムスリップすることができることです。現在、東京と大阪間の所要時間は新幹線のぞみ号で約二時間半ですが、昭和三十年代に発刊された鉄道に関する児童向けの本によれば、東海道本線がようやく全線電化し特急列車で七時間半で結ばれるようになったのであるとか、今はイベント列車を除き見る

ことができなくなった蒸気機関車が最新鋭の機関車などと紹介されている記事を見ると隔世の感があり感激しました。

興味深いのは店主の値踏みです。簡単に言うところ古本には定価がないので、いくらで売るかという値段の付け方です。値踏みには古本屋の個性があり、一律に中庸の値段をつけている古本屋もあれば、特集記事の内容まで精査して値段を付けている古本屋もあります。人気の無い商品は安く、人気の高い商品はより高い値段を付け格差をつけます。しかしここが味噌で、人気商品はめったにお目にかかることはできず値踏みに納得させられませんが、残念ながら手は出ません。しかし、掘り出し物を発見した時は宝探し冥利に尽きます。

また、本の内容だけでなく、当時の広告や印刷技術、紙質、デザインなども知ることができ文化遺産としての価値も兼ね備えています。

最後に日本大学の図書館を紹介いたします。日本大学が保有する蔵書は約五七六万冊（平成二十五年三月現在）に及び、各学部図書館が設置されています。人文科学から自然科学まで全ての学問に対応する図書館として真の総合大学にふさわしいアーカイブを構成しています。本や雑誌などのアナログ資料とともに、各種のデータベースやDVDなどのデジタル資料が閲覧・調査できます。各学部の図書館が所有する蔵書は、日本大学蔵書目録横断検索システムにより、日本大学全体の蔵書データを効率よく検索することができます。更に、相互貸借という制度を利用すれば各学部図書館に所蔵していない図書も、所蔵している図書館へ貸出の依頼を行うこともできます。更に各学部では、学部の特徴に応じた貴重書の収集にも尽力しております。このような充実した図書館でじっくり調査・研究し、是非、将来の夢を実現して下さい。

また最後に、最近はお宝探し出掛けなくてもネットショッピングで入手できる本も多くなりましたが、散歩がてら気分転換に本屋に出かけ、お宝の山からお気に入りの一冊を見つけてはいかがでしょうか。

# 私の読書道

第14回

## 「感性豊かな時代に」

教諭 斉藤 健 (情報・音楽)

最近電子書籍がブームである。ブームとあらばまずは乗ってみたい気分なので、電子書籍の端末を購入した。使ってみる前は、やや懐疑的であったのだが、使ってみると、これは便利である。読みたいと思った本が、数分後には手元にあるのである。しかも値段も安い。専用の電子書籍端末だけでなく、タブレットでも、スマートフォンでも読むことができる。画面もちょうど新書版の大きさなので、文字も見やすいし、どんな厚い本であっても片手で持って読めるという利点がある。そんなことで、いろいろな本を購入してみた。夏目漱石から、最近はやった「倍返し」の本まで、たいいていの本は手にすることができる。そこでこの間、アニメ映画で評判になった『風立ちぬ』を購入してみた。値段はなんと0円(！)である。映画のほうは見えていないのだが、このタイトルが郷愁をそそいたのである。これを読んだのはもう四十年以上も前。多感な青年時代であった。この頃、堀辰雄や、立原道造の詩などに夢中であった。信州、信

濃追分や八ヶ岳、高原といった単語が心の中を風のように駆け抜け、淡い恋心のようにほのかに胸を熱くしたものである。純粋な年代であった。そう、高校生から大学生にかけては、人生の中で一番純粋な時代なのである。電子書籍で読み返してみても、その純粋さは何ら色あせるものではなかった。今の高校生はどうなのであろうか。私が堀辰雄を読んだのはこの小説が書かれたおよそ三十年後である。その時でも小説の初々しい感性に十分に浸りきることができた。その四十年後、再び脚光を浴びて、アニメ映画のタイトルになるのである。だから、今の高校生諸君にも、同じようにみずみずしい感動を与えてくれるのであろうと思う。人生にはその時々読まれるべき本があるという。感性豊かな時代に、一片の音楽のような本が心の深いところに刻み込んだ感動は、その後も時々頭をもたげて、その人の人生の一部になっていく。私も、ふとした時に「風立ちぬ、いざ生きめやも」というフレーズが口の上につくことがある。読書はいいものです。媒体はなんでも結構。いろんなものをこの時期に知っておかないと、もったいないよ。



※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。

## としよかんニュース

### 本校を思う心が

先輩方による本の寄贈

今年も、日大山高校友会より二十二回目の本の寄贈がありました。この会は山新グループの本校卒業生による会で、会長は木嶋正英氏です。先輩方の母校愛に感謝の気持ちをもって、これらの本を活用したいものです。これまでにいただいた冊数は約三百二十冊になります。

今年には図鑑を中心に様々な本がそろいました。ぜひ読んでみて下さい。



### 館内テーブルの

### レイアウトを変更

雑誌新聞コーナー、文庫本近辺のテーブルが広くなりました！夏休みの蔵書点検の際に図書委員の協力でテーブルの配置を変え、二台分の学習用ついたてをはずしてみました。皆さんによりリラックスして、広々と使ってほしいと思います。ついたてがないと明るい感じがしませんか。ぜひ立ち寄って、ゆったりと新聞を広げたり雑誌を読んだり、思い思いに過ごしてみましよう。



# 平成25年度 日本大学山形高等学校・中学校 芸術鑑賞会

平成25年6月25日(火) 会場：山形市民会館大ホール 『PPP×岡田知之パーカッションアンサンブル』

## パーカッションアンサンブルを聴いて学んだこと

三年四組 榎 環



2つのユニットによる迫力ある演奏

六月に行われたパーカッションユニット「OPE」と「PPP」による芸術鑑賞会は、多種多様の打楽器と演奏しながらの激しいパフォーマンスに圧倒された楽しい時間だった。

最初に登場したのは「OPE」。『幻のトレイン』という曲は、作曲者が列車での旅を想像している世界を表現している。ビブラ

フォンとウインドチャイムで始まる音楽は聴いていて、本物の列車が徐々にスピードを上げて走っていくような気がした。また、三年生は自分の進路に向けての出発も連想したと思う。九人での演奏はとてむ迫力があり、たくさんの音がいるんな所から降ってくるような幻想的な空間だった。

対照的に「PPP」は、コミカルな音楽を繰り広げていた。運動会をテーマにした寸劇と音楽や、ホースを使つての「ドレミの歌」など、誰もが聴いたことのある曲を普段はなかなか見ることがない方法で演奏し、会場が湧いた。印象的だった曲は、「道化師のギャロップ」。この曲は、一つのシロフォンを三人の奏者が回りながら演奏していた。普通に演奏するだけでも難しそうなのに、曲の終盤

では人が入れ替わりながらただでなく、楽器を中心に、ぐるぐるの回りながら演奏していたことには驚いた。

ポディパーカッションや民族楽器のコーナーで、私達も一つの音楽に参加することができて楽しかった。聴いたことのない音や見たことがない楽器がたくさんあり、ステージに上がった生徒は夢中でたいていた。手で簡単に単純なリズムをたたいていただけなのに、「OPE」と「PPP」の方と一緒にたたくと音がどんどん前に進んでいくように感じられ、会場にいる一人一人の音が合わさったときとても感動した。

音楽用語でアンサンブルという言葉は、二人以上が同時に演奏するということ意味だ。今回打楽器アンサンブルを聴いて、演奏者の方とても楽しそうで、メンバーをとても信頼しているように見えた。お互いの体の動きや目で声を掛け合つてビートをそろえていて、アンサンブルにはメンバーを信じるという意味もあると思った。それは友人関係にも似ている気がした。何度も話し、お互いのことを知り、共に三年間過ごすことができた。これから離れても地元に戻るときに話せるような関係でいたいと、高校生活最後の芸術鑑賞会を通して思った。



生徒もステージへ!!

## 平成25年度 図書館講座

～読み聞かせをしよう～

実際に幼稚園に行き、子どもたちに絵本を読むという図書館講座「読み聞かせをしよう」が今年度も開催されました。三回の練習会を経て本番という流れは例年通りでしたが、今年度は練習会に、経験豊富な保護者の方からお越しいただき、特別にご

### 参加者の声

指導していただきました。DVD鑑賞自分たちでの練習に加え、外部の方からのご指導と、今年は刺激も多く充実した練習会となりました。迎えた本番では、緊張しながらも絵本の楽しさを伝えようと一人一人頑張りました。それが子どもたちにも伝わったでしょうか。少し長いお話も真剣に聴いてくれました。うまくいかなかった点もありましたが、参加者全員、とてもよい経験を積むことができました。

(二年女子)



どの絵本が楽しんでもらえるかなあ



貴重な体験となりました

▽読み聞かせに慣れてくれたので、良い読み聞かせになりました!!読んでいる私達も嬉しかったです。常に相手を楽しませようと考えることを大切にしたいです。(二年女子)

(二年男子)

▽保護者の方の話を参考に読み聞かせできてとても良かった。思っていたより簡単だし、小学生の子たちの反応も良くて緊張せずにできた。(二年男子)

▽今回読み聞かせに参加でき、とても楽しく良い経験になりました。ほかの参加している人たちは二年生が多く、少し緊張しましたが、部活の後輩以外の人と接することができて良かったです。読み聞かせをしていて自分も楽しかったし、ほかの人たちから感想や「絵本を見せてもらえますか」と声をかけてもらえて、嬉しかったです。本番では、ページを間違えてしまった人もいたけど、それぞれの良さがあって面白かったです。子ども達も真剣に聞いていて、すごいと思いました。(三年女子)



児童への読み聞かせ



園児への読み聞かせ

# 平成25年度 『多読クラス賞』『ベストリーダー賞』決定!

今年度も『多読クラス賞』の表彰が、十二月十九日の終業式で行われました。各学年一位のクラスに近藤校長先生より、賞状が授与されました。また、『ベストリーダー賞』に入賞したみなさんには、賞状と賞品が贈られました。受賞クラスや個人で受賞したみなさんに、とても喜んでいただけたようです。

## 受賞クラス図書委員の感想

### 一年五組

井上 秀平・中野 響

受賞したと聞いたときは驚きでしたが、とても嬉しいです。これからも読書の楽しさを広めていきたいと思っています。

### 二年十三組

荒木健太郎・小林 凌

一人一人の努力により、多読クラス賞を受賞できました。四月から三年生になり忙しくなると思いますが、クラスみんなに本を読んでもらえるよう、声をかけていきたいと思っています。

### 三年十二組

國井 勝徳・古瀬 耕平

三年間学年で上位には入っていましたが、ようやく受賞できました。特進コースの理系クラスですが読書好きが多く、みんなが頑張った結果だと思います。ありがとうございました!

## ベストリーダー賞受賞者を代表して...

### 二年一位 二年十三組 古城明日香

本が好きでたくさん読んでいたら、学年一位をとることができました。いつも休み時間や電車の中で、読書をしています。三年生になっても勉強をしつつ、読書で気分転換したいと思います。来年も一位を目指して頑張ります!



多読クラス賞	◆1年5組 1.7冊	◆3年12組 4.1冊
☆結果☆	◆2年13組 6.5冊	(全体平均 1.1冊)
	(4月~11月の1人当たりの平均貸出冊数)	



## 『あの日、君と Girls』

ナツイチ製作委員会 編

あの日、君と一緒に見た光景を、私はきっと忘れない。夜の公園で身を寄せ合いながら、秘密を打ち明けてくれた君。大切な人を捜すため、学校を抜け出して海を目指した君。無邪気に私を慕う子どもだったのに、ふいに男の子の顔を見せた君!



幼い頃に一緒にした冒険や委員会活動を思い出の物語や、大人の女性へと成長し故郷に戻ってきた少女が、同じく成長した幼なじみの君と再会し、懐かしい昔を共に振り返る物語など、爽やかで切ない七つの物語を、あさのあつこや萩原浩らの人気作家が描いた作品集です。一つ一つの物語にでてくる主人公の少女の恋心が生き活きと描かれていて、共感ももてる場面や感動できる場面が多くあります。この作品集の物語は一言が短い物語で構成されているので、読書が苦手な人でも手軽に読めると思います。少女たちによる切ないストーリーを、ぜひ一度読んでみてください。

一年四組 土師なぎさ

## 『ジョーカー 清涼』

清涼院流水 著

超がつく程の優れた頭脳を持つ名探偵達が活躍する、JDCシリーズの第二弾。一九九三年、京都のとある古城で合宿中の推理作家達が「芸術家」と名乗る者に次々と殺害されてしまう。事件を解決するために捜査に乗り出したのは、現場に居合わせたベテラン探偵の轟太郎、大物名探偵の龍宮城之助、女探偵の霧華舞衣、フアジイ探偵の九十九音夢、世界トップクラスの名探偵の息子であり自身も名探偵の鴉城着也をはじめとする、JDC(日本探偵倶楽部)のメンバー。初めはただの連続殺人事件と思われていたが、歴史に名を残す程の凶悪殺人事件の幕明けであった!人間離れた狡猾さと異常性を持つ「芸術家」相手にJDCの探偵達はどのような推理を繰り返してゆくの。私達の予想をはるかに越えた頭脳戦が繰り広げられていて、非常にすばらしい作品です。今から十年以上前の作品なので、現在の推理小説と読み比べてみる価値は十二分にあると思います。どうぞご覧あれ。



二年九組 菅原 大地

## 『A型自分の説明書』

Jamais Jamais 著

この本は、うまく自分を説明したいA型の人や、A型の実態を知りたいA型以外の人のための説明書、という名目で進められる項目チェック型の解説書です。A型は自分自身を、違う血液型の人とは自分が知っているA型の人達を思い浮かべてみてください。確かにこんな感じかも、と思ってしまうのではないのでしょうか。自分の性格を見つめ直したり、友人のことを深く知ることができると、かもしれません。当事者以外が読んでも十分に楽しめます。



三年五組 福地 咲耶

自分がA型なのでこの本を紹介しましたが、他の血液型の本も所蔵していますし、続編もあります。普段本を読まない方にもおすすめです。友人と楽しく読むもよし、見つけたらとりあえず手に取ってみてください。

# 図書委員会活動報告



## 六年間を通して

前期委員長 三年十二組 古瀬 耕平

図書委員長としての一年を終え、小山先生や司書の芳賀さん、そして図書委員のみなさん等、様々な方に支えて頂いた一年であったと強く感じています。

高校の図書委員として三年間、日大山形中学校での経験も合わせると、ほぼ六年間日大山形の図書委員会に所属していました。委員長になった時は正直な所、自分に自信さえ持っていたと思います。しかし、そう簡単にはいきませんでした。初めての仕事や大勢の前に出る機会も増え、加えて三年生という時期や野球部の甲子園出場など様々な事が重なり、とても忙しく充実した日々が続きました。そんな中、支えてくれたのが各先生方、副委員長をはじめとする図書委員のみなさんです。仕事も教わったり手伝ってもらったり、原稿の類はほぼまかせっきりでした。

図書委員長としてのこの一年間は、周りの支え無しには有り得なかったと思います。関わってくれた方々に感謝すると共に、後期図書委員会も互いに支え合う委員会になること、そしてより良い図書館にしてくれることを願っています。



## 新図書委員長として

後期委員長 二年五組 無着 亮雄

後期の図書委員会が発足して四ヶ月がたち、ようやく図書委員長という立場にも慣れてきました。

中学生の時から図書委員をしていた経験から、内心図書委員長の仕事も上手く出来ると思っていました。しかし、予定通り作業を進めるのは難しく、さらに他校の図書委員との交流を通して図書委員長という立場の責任の重さを実感しました。ですが先生方や司書の方、執行部の皆の支えがあり、一つずつこなしています。桜華祭での古本市では例年より集まった本はやや少ないものの、多くの人に足を運んでいただき、しおり作りと消しゴムはんこ作りに関しては、教える側も夢中になって楽しむことができました。蔵書点検も暑いなか一人一人が責任をもって仕事をこなしていました。

今年度は全員が曜日当番の仕事にしっかりと取り組み、今まで以上に図書館を利用してもらえるように、より良い環境を作れるよう頑張っていきたいと思います。

## 書を読む、『初』を読む。キャッチフレーズ ● ~ Hello, New World ~

### 平成25年度 図書委員会

図書委員会は、A（読書推進）、B（資料装備）、C（広報・データ）の3グループに分かれて活動しています。桜華祭での古本市など大きな行事・企画でも、執行部を中心に、協力しあい楽しみつつ、一生懸命取り組んでいます。

1年生	2年生	3年生
1組 大場 啓史 2組 石山 裕規 3組 岩田みのり 4組 土師なぎさ 5組 井上 秀平 6組 佐竹 彩夏(前) 7組 樋口 祐太(後) 8組 丹野 和彦(前) 9組 柏倉 伊吹(後) 10組 阿部 留佳(前) 11組 秋葉 一輝(後) 12組 阿部 嵐 13組 木村優里奈 14組 延沢 一志(後)	1組 竹田 智記 2組 大類 翔 3組 木村 公泉 4組 村山 七帆 5組 無着 亮雄 6組 鈴木 遥 7組 鈴木 颯太(前) 8組 大沼 辰洋(後) 9組 横沢 佳希 10組 田中 翔太 11組 坂本 春花 12組 山口 綾子 13組 渡邊 将太 14組 松田 啓佑 15組 清野 洸貴(前) 16組 鈴木 功祐(後)	1組 熊坂 明紀 2組 後藤 侃 3組 伊藤 和花 4組 長岡 杏奈 5組 設楽 舞 6組 中村 結菜 7組 笹原 遼哉 8組 柏倉 歩 9組 奥山 智博 10組 岩瀬 晴佳 11組 武田 志穂 12組 國井 勝徳 13組 鈴木惠里可 14組 熊坂 明紀 15組 吉岡 佑晟 16組 中野 聡士 17組 庄司志央里 18組 横 環 19組 福地 咲耶 20組 結城 大地 21組 渡邊 和生 22組 川股 悠大 23組 幸田健一郎 24組 木村 勇貴 25組 寫田 一平 26組 古瀬 耕平 27組 戸津 成陽

前期執行部	後期執行部
委員長 古瀬 耕平 副委員長 岩瀬 晴佳 3年10組 岩瀬 晴佳 3年11組 笹原 遼哉 3年12組 武田 志穂 3年8組 川股 悠大 2年生代表 無着 亮雄 2年5組 無着 亮雄	委員長 無着 亮雄 副委員長 神保 歩 2年9組 神保 歩 2年10組 荒木健太郎 2年11組 新田 大陸 2年6組 鈴木 遥 1年生代表 山澤 茜 1年4組 山澤 茜



本のごことは私達に聞いてください！

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ



# ライブラリーフォト

～図書館・図書委員この1年～

## 4月 新入生用カード作成



1枚ずつ気持ちをこめて

## 4月 前期委員会発足



わかりやすく仕事の説明

## 5月 前期図書選定



たくさん本を選んでできました！

## 10月

### 後期委員会発足



役割確認しっかりと

委員長を託す大事な1票

### 後期図書選定



新執行部になつての初仕事でした

## 8月

### 蔵書点検



丁寧だけどスピーディに

### 桜華祭 古本市



準備に余念なし！



どう並ぶのが悩み中



集中してはんこ作り



笑顔で「いらっしゃいませ！」



暑中頑張りました



たくさん本がみなさんの手元に

## 12月

### 雑誌リサイクル



じっくり選んで

お目当ての雑誌ゲット！！

### 作業風景



ずれないように慎重に




地道にコツコツ

## 年間図書貸出ベスト10

平成26年 1月31日現在

順位	書名	著者名	請求番号
1位	『ソードアート・オンライン プログレッシブ1』	川原 礫	913.6 カ
2位	『ログ・ホライズン3 ゲームの終わり上』	橙乃 ままれ	913.6 ト
3位	『Re:Monster3』	金斬 兎 狐	913.6 カ
4位	『SPEED』	金城 一 紀	913.6 カ
5位	『リセット2』	如 月 ゆすら	913.6 キ
6位	『刀語第12話 炎刀・銃』	西 尾 維 新	913.6 ニ
7位	『真夜中のパン屋さん 午前0時のレシピ』	大 沼 紀 子	913.6 オ
8位	『学園キノ5』	時雨沢 恵 一	913.6 シ
9位	『93番目のキミ』	山 田 悠 介	913.6 ヤ
10位	『マスカレード・ホテル』	東 野 圭 吾	913.6 ヒ

上位はライトノベルが占め、読む人の好みが固定されているように感じ、もっと多くの人に色々なジャンルの本を読んでもらいたいと思いました。文学作品以外にも、イラスト集や、歴史、心理、料理など多岐にわたって図書館に所蔵されているので、一度足を運んでみてください！  
(2年 神保 歩)



## 編集後記

昨年12月から図書館に新たなスタッフを迎え、より明るさを増した館内となりました。今年度の桜華祭の古本市ではしおり作りに加え、図書委員からの提案で消しゴムはんこ作りを体験するコーナーを設けました。生徒の発想力と行動力には驚かされ、頼もしい姿を見ることが出来ます。みなさんがいつ来ても対応できる環境に加え、委員会執行部のアイデアと先生方や生徒達の愛着心によって図書館が成り立っていることを実感する日々です。生徒とともに私達も成長し、利用して下さるみなさんに充実した情報を届けられる図書館にしていければと思います。  
(図書部)